

ノロウイルスについて

中央検査部 佐々木 一成

ノロウイルスは、乳幼児から高齢者に至る幅広い年齢層で急性胃腸炎を起こすウイルスです。

11月から3月の主に寒い時期にこの感染症は頻発しますが、一年を通して患者は見られます。感染力が非常に強く、ウイルスがついた手や食べ物を介して口から感染し、激しい嘔吐、下痢、腹痛、発熱を引き起こします。感染から発症までの潜伏期間は24~48時間です。症状は1~3日くらい続きますが、後遺症は残りません。これといった特効薬はありませんが、下痢・嘔吐を繰り返すので、脱水にならないようできるだけ水分を取ることが大切です。

対策 使い捨て手袋やマスクを着用し、塩素系漂白剤（ハイター）で消毒します。ノロウイルスは、アルコールに抵抗性なので、塩素系漂白剤の使用か85℃で1分以上の熱処理が有効です。

塩素系漂白剤の濃度は、汚物を拭き取ったペーパーや拭き取った後など、糞便や吐物の汚染したものに、0.1%（漂白剤を50倍希釈程度）と高い濃度で使用し、手を洗った後の洗面台や、汚染された手で触った可能性のあるものについては、0.02%（250倍希釈）で十分です。吐物が乾燥すると、飛散して口から感染することもあるため、乾燥する前に処理することが重要です。

- 予防法**
- ・食事前やトイレ後は、石鹼（液体石鹼推奨）を使い、流水でしっかり手を洗う。
 - ・タオルなど、共用での使用を出来るだけ避ける。
 - ・貝類などは生で食さず、しっかり加熱調理したものを食べる。
 - ・貝類など調理したまな板や包丁は熱湯消毒する。
 - ・吐物などは、適切に処理する。

当院検査科では、昨年より便中ノロウイルス検出キットを取り入れ、約15分でノロウイルス感染の判定が可能になりました。

